



2022年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月14日

上場会社名 タツモ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6266 URL <https://www.tazmo.co.jp/ja/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 亀山 重夫

TEL 086-239-5000

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	16,958	22.2	1,381	64.8	2,001	115.8	1,426	129.9
2021年12月期第3四半期	13,876	2.7	838	49.0	927	42.8	620	48.3

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 2,301百万円 (144.3%) 2021年12月期第3四半期 941百万円 (17.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	103.63	
2021年12月期第3四半期	46.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第3四半期	37,004	17,208	45.7	1,163.62
2021年12月期	29,390	13,574	45.5	1,009.37

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 16,929百万円 2021年12月期 13,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		0.00		16.00	16.00
2022年12月期		0.00			
2022年12月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年12月期(予想)の配当金の内訳 普通配当 18円00銭 記念配当 2円00銭(創立50周年記念配当)

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,133	18.8	2,988	42.8	3,396	53.1	2,412	37.9	172.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は2022年6月13日を払込期限とする公募増資を実施いたしました。この結果、1株当たり当期純利益は公募増資による普通株式1,305,000株の増加分を含めて計算しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 龍雲(紹興)半導体設備科技 有限公司、 除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご確認ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	14,813,300 株	2021年12月期	13,508,300 株
期末自己株式数	2022年12月期3Q	264,449 株	2021年12月期	271,849 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	13,766,228 株	2021年12月期3Q	13,233,456 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(受注状況)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、欧米などで緩やかな回復がみられるものの、新型コロナウイルス感染症の長期化やウクライナ情勢の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体業界におきましては、サーバーや5G（次世代移動通信）、リモートワーク向けなどIT投資用途の半導体の需要の拡大による設備投資は堅調に推移いたしました。

このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、顧客ニーズに対応した装置の開発や生産活動に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は169億58百万円（前年同期比22.2%増）、営業利益13億81百万円（前年同期比64.8%増）、経常利益20億1百万円（前年同期比115.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億26百万円（前年同期比129.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(プロセス機器事業)

半導体装置部門につきましては、半導体製造装置の需要拡大により受注は増加しており、売上高は38億53百万円（前年同期比57.1%増）となりました。

搬送装置部門につきましては、半導体装置メーカーの設備投資が堅調であり、売上高は51億8百万円（前年同期比29.0%増）となりました。

洗浄装置部門につきましては、洗浄装置の引渡しが進んでおりますが、売上高は16億21百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

コーター部門につきましては、中小型パネル向け装置が堅調であり、売上高は26億38百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は132億22百万円（前年同期比21.2%増）、営業利益13億25百万円（前年同期比47.8%増）となりました。

(金型・樹脂成形事業)

金型・樹脂成形事業につきましては、リモートワーク向けなどIT関連の需要は増加しているものの、海外子会社が新型コロナウイルスによる影響を受けたことなどにより、売上高は10億77百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益21百万円（前年同期比71.0%減）となりました。

(表面処理用機器事業)

表面処理用機器事業につきましては、車載用プリント基板メーカーの設備投資が比較的堅調であることから、売上高は26億58百万円（前年同期比46.8%増）、営業利益60百万円（前年同期は1億22百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は291億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億81百万円増加しました。これは、「受取手形及び売掛金」が23億37百万円減少したものの、「棚卸資産」の増加56億67百万円、「現金及び預金」の増加21億30百万円と「その他」の増加13億62百万円があったことが主な要因であります。有形固定資産は62億97百万円となり、前連結会計年度末より4億26百万円増加しました。これは、「その他」の増加2億55百万円、「建物及び構築物」の増加99百万円と「機械装置及び運搬具」の増加39百万円があったことが主な要因であります。無形固定資産は1億87百万円となり、前連結会計年度末より40百万円増加しました。「その他」が52百万円増加したことが主な要因であります。投資その他の資産は13億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円増加しました。これは、「その他」の増加25百万円、「繰延税金資産」の増加44百万円と「貸倒引当金」の増加4百万円が主な要因であります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ76億14百万円増加し、370億4百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は160億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億90百万円の増加となりました。これは、「前受金(契約負債)」の増加6億55百万円と「電子記録債務」の増加18億7百万円が主な要因であります。固定負債は37億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億89百万円の増加となりました。「長期借入金」が13億33百万円増加したことが主な要因であります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ39億80百万円増加し、197億95百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は172億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億34百万円の増加となりました。これは、公募増資による「資本金」の増加7億71百万円、「資本剰余金」の増加7億71百万円、「利益剰余金」の増加12億10百万円と「為替換算調整勘定」の増加8億4百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年8月3日の「2022年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの影響につきましては、今後の感染状況の悪化やその収束時期によって業績が大きく変動する可能性もありますので、経営環境の動向を注視し、開示が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、龍雲(紹興)半導体設備科技有限公司(中国)を新規に設立したことから、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更につきましては、3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。なお、会計上の見積りの変更・修正再表示につきましては、該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,267,552	5,398,121
受取手形及び売掛金	5,475,653	3,138,636
電子記録債権	1,201,953	1,460,474
棚卸資産	11,384,458	17,051,682
その他	746,302	2,108,819
流動資産合計	22,075,920	29,157,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,527,656	3,627,619
機械装置及び運搬具(純額)	784,408	824,054
土地	1,259,848	1,291,426
その他(純額)	299,009	554,737
有形固定資産合計	5,870,923	6,297,837
無形固定資産		
ソフトウェア	139,220	126,837
その他	8,246	61,154
無形固定資産合計	147,467	187,991
投資その他の資産		
投資有価証券	401,975	401,969
繰延税金資産	473,342	518,316
その他	420,484	445,919
貸倒引当金	—	△4,900
投資その他の資産合計	1,295,803	1,361,304
固定資産合計	7,314,194	7,847,134
資産合計	29,390,115	37,004,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,873,986	1,962,268
電子記録債務	2,488,484	4,296,455
短期借入金	3,171,522	2,908,260
1年内償還予定の社債	300,000	—
未払金	1,267,615	977,157
未払法人税等	313,392	452,809
前受金	3,371,322	—
契約負債	—	4,026,686
賞与引当金	241,296	435,722
製品保証引当金	298,254	270,530
株式給付引当金	5,911	5,431
有償支給取引に係る負債	—	577,364
その他	125,737	135,406
流動負債合計	13,457,522	16,048,093
固定負債		
長期借入金	1,652,717	2,986,404
株式給付引当金	214,321	241,898
役員退職慰労引当金	17,225	20,177
役員株式給付引当金	91,310	114,440
退職給付に係る負債	58,076	64,717
資産除去債務	149,345	185,042
その他	174,968	135,103
固定負債合計	2,357,964	3,747,783
負債合計	15,815,486	19,795,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,724,067	3,495,400
資本剰余金	2,659,522	3,430,855
利益剰余金	8,104,586	9,315,021
自己株式	△446,249	△434,427
株主資本合計	13,041,925	15,806,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300	201
為替換算調整勘定	318,211	1,122,239
その他の包括利益累計額合計	318,512	1,122,441
非支配株主持分	214,190	279,699
純資産合計	13,574,628	17,208,991
負債純資産合計	29,390,115	37,004,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	13,876,218	16,958,440
売上原価	10,300,947	12,368,907
売上総利益	3,575,271	4,589,532
販売費及び一般管理費	2,736,765	3,208,070
営業利益	838,506	1,381,462
営業外収益		
受取利息	8,433	11,639
補助金収入	5,282	5,522
為替差益	82,890	621,828
その他	25,161	22,242
営業外収益合計	121,768	661,233
営業外費用		
支払利息	26,622	26,055
株式交付費	—	12,511
その他	6,216	2,657
営業外費用合計	32,839	41,224
経常利益	927,434	2,001,470
特別利益		
固定資産売却益	—	64,999
特別利益合計	—	64,999
税金等調整前四半期純利益	927,434	2,066,470
法人税等	282,158	617,934
四半期純利益	645,275	1,448,535
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,753	21,995
親会社株主に帰属する四半期純利益	620,521	1,426,540

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	645,275	1,448,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	261	△98
為替換算調整勘定	296,422	852,931
その他の包括利益合計	296,683	852,832
四半期包括利益	941,959	2,301,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	899,171	2,230,469
非支配株主に係る四半期包括利益	42,788	70,898

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月13日を払込期日とする公募増資により、発行済株式総数が1,305,000株、資本金及び資本剰余金がそれぞれ771,333千円増加いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が3,495,400千円、資本剰余金が3,430,855千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、龍雲(紹興)半導体設備科技有限公司(中国)を新規に設立したことから、連結の範囲(プロセス機器事業)に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。詳細は次のとおりです。

製品の販売については、主に顧客への引渡の際に据付を要する製品については据付が完了し顧客の検収が完了した時点、また、据付を要しない製品については出荷時点で、顧客が当該製品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断していることから、当該時点において収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しています。

この結果、収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業	表面処理用機 器事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,909,396	1,155,142	1,811,680	13,876,218	—	13,876,218
セグメント間の内部売上 高又は振替高	193,584	113,519	7,871	314,975	△314,975	—
計	11,102,980	1,268,661	1,819,552	14,191,194	△314,975	13,876,218
セグメント利益又は損失 (△)	897,181	75,320	△122,742	849,759	△11,253	838,506

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業	表面処理用機 器事業			
売上高						
半導体装置	3,853,897	—	—	3,853,897	—	3,853,897
搬送装置	5,108,344	—	—	5,108,344	—	5,108,344
洗浄装置	1,621,682	—	—	1,621,682	—	1,621,682
コーター	2,638,244	—	—	2,638,244	—	2,638,244
金型・樹脂成形	—	1,077,406	—	1,077,406	—	1,077,406
表面処理用機器	—	—	2,658,864	2,658,864	—	2,658,864
顧客との契約から生じる 収益	13,222,169	1,077,406	2,658,864	16,958,440	—	16,958,440
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,222,169	1,077,406	2,658,864	16,958,440	—	16,958,440
セグメント間の内部売上 高又は振替高	251,228	163,704	632	415,564	△415,564	—
計	13,473,397	1,241,111	2,659,496	17,374,004	△415,564	16,958,440
セグメント利益	1,325,591	21,870	60,576	1,408,038	△26,576	1,381,462

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 補足情報

(受注状況)

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

1. 受注高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日) (千円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業	16,017,124	18,120,707	113.1
半導体装置	6,047,859	7,334,613	121.3
搬送装置	4,973,842	7,182,424	144.4
洗浄装置	2,820,820	2,698,982	95.7
コーター	2,174,602	904,686	41.6
金型・樹脂成形事業	1,327,216	1,074,882	81.0
表面処理用機器事業	2,963,039	7,944,667	268.1
合計	20,307,381	27,140,258	133.6

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 受注残高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日) (千円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業	18,600,752	29,200,385	157.0
半導体装置	5,144,648	8,849,826	172.0
搬送装置	3,277,360	6,185,609	188.7
洗浄装置	3,853,147	9,066,791	235.3
コーター	6,325,596	5,098,159	80.6
金型・樹脂成形事業	366,880	345,225	94.1
表面処理用機器事業	2,481,585	7,962,240	320.9
合計	21,449,218	37,507,851	174.9

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。